



ちょうど今ごろの時期をあらわすのに、「寒露」という言葉が使われます。

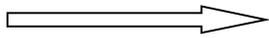
二十四節気の一つで、「秋が深まり、野草に冷たい露がむすぶ」という頃です。雁などの渡り鳥が、北から渡ってくるのもこの時期ですね。

ところで、秋の味覚はたくさんあり、どれも美味しいですが、この時期に特に美味しいのが「秋サバ」なのだそうです。刺身でも、塩焼きでも、味噌煮でもOK！脳に良いとされているDHAも豊富に含まれています。魚が苦手な子どもたちも、いろんな「旬の味」を、楽しんでほしいですね。

1 美しい言葉、使っていますか？

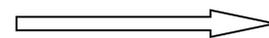
普段、自分が使わないような言葉を聞くと、「キレイな言葉を使う人だな」と、その人を見直すことがあります。家庭内で使うかはともかく、職場や外出時など意識してみると良いかもしれません。どのように大人が話をしているか、何気なく子どもたちは聞いているものですから。

知っています



存じております

了解しました



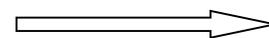
承知しました

つまらない物ですが・・・



心ばかりの物ですが・・・

忘れていました



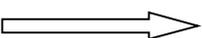
失念しておりました

帰ります



お暇（いとま）します

すごいと思いました



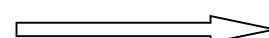
感服いたしました

がんばります



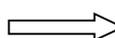
最善を尽くします

忘れてください



ご放念ください

ハンバーガーが切れたので、
4分お待ちください



できたてをご用意しますので、4分
お待ちください



2 「子どもに伝えてほしいこと！」

子育てって、すんなり思い通りにはいきませんね。「何で言うことを聞いてくれないの！」とイライラしたり、一人で抱え込んでしまって「どうしていいかわからない」と落ち込んだり、子どもの顔を見ているだけでしあわせな気持ちになったり。そんな時、先輩パパ・ママがどんなことを心がけていたか、いくつかご紹介します。

「とりあえず、やらせてみた！」

ジュースをこぼそうが、自分でコップに注がせてみたり、ボタンをかけ違えていようがそのまま過ごさせてみたり。

私だって30年以上生きてるけど、できないことはたくさんある。その半分も生きてないこの子にガミガミ言ってもなあ。まあ、失敗して、そこから学んでくれたら良いなって、のんきに思うようにしてた。



「毎日、私の宝物って言ってた！」

小学生になっても、中学生になっても、続けてました。ちょっとけんかした日は、さすがに気まずかったので、メモに書いて机に置いたりしてました。大学生になったとき、娘は「言われなくなったら、ちょっとだけ物足りないかも・・・」って。

「育児書を読まないようにした！」

本によって書いてあることが違ったりするから、どれが正しいの～って分からなくなった。いろんな人のアドバイスもバラバラ。

「もう、自分は自分のできることをやろう。どうせ私は子育てのプロじゃないし・・・」って開き直って、その時その時、子どもに合わせてなんとかやってみました。

先輩パパ・ママの意見いかがですか。これは良いなあと感じたところは、参考にしてみてください。

～ あとがき ～

「ナタデココって何でできてるか知ってる？」と、唐突に聞いてきたのは笑顔の素敵な小学5年生。ナタデココ、あんみつに入っている寒天かと思いきや、あら歯ごたえがあるじゃないってびっくりするアレですね。作り方・・・って、アロエみたいに、中からぷるんとでてくるんじゃないの！？と答えた無知な私に、その子は教えてくれました。

「本当はナタ・デ・ココといって、ココナツ果汁をナタ菌で発酵させたものなんだよ。だからとても酸っぱいんだけど、何日も水に入れて酸っぱいのをなくすんだって～。それから、甘い汁に入れてると美味しくなるんだよ。」

夏休みに読んだ本に書いてあったんだそうです。そのおかげで、私まで一つ知識が増えました。知識という点だけでなく、心を動かすためにも、たくさんの素敵な本と出合ってほしいなあと思いました。



★ 今月のオススメ絵本は、「夜をあるく」作：マリー＝ドルレアン です。